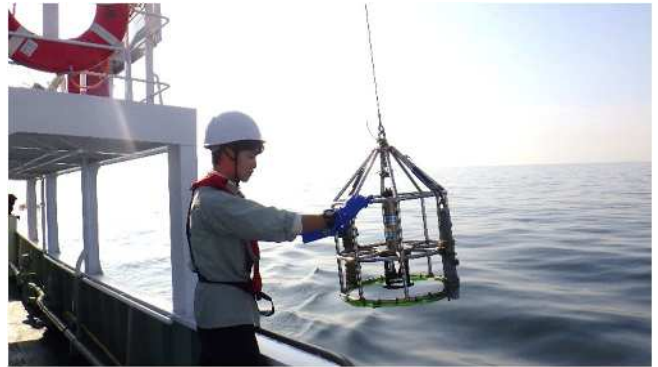


第1回試験（水産） 2022年度入庁 水産試験場 技師 中島さん

○入庁のきっかけ

愛知県は内湾や流入する大河川、外海と多様な環境があり、そこでは様々な漁業が営まれています。私はその多様な漁業に魅力を感じ、かつ大学で身につけた知識や技量を仕事に活かしたいと思い、愛知県を志望しました。



○業務の内容

現在私は、海洋資源グループで主に漁業調査船「海幸丸」に乗船し、海況の調査や解析、情報発信を担当しています。また、市場における水産物の調査や漁業者の船に乗船して、底びき網調査、干潟での調査にも同行しています。



○愛知県庁で働く魅力・やりがい

水産職は、数年おきに本庁、農林水産事務所、水産試験場などに配属され、幅広い知識や経験を積むことができ、多角的な視野が身につきます。また、現場に足を運び、漁業関係者の話を直接聞く機会が多いので、現場の声を行政や試験研究に反映させることができます。



○皆さんへのメッセージ・アドバイス

水産職は、行政や研究など幅広い面から水産業の発展に働きかけることができます。若いうちから様々な業務を経験でき、自身を成長させてくれる非常に良い職場なので、少しでも興味があれば、ぜひチャレンジしてみてください。皆さんと一緒に働ける事を楽しみにしています。



(掲載内容は2024年度当時のものです。)